

太田小学校屋内体育館耐震補強工事

発注図

新潟市建築部公共建築第1課

新潟市建築設計協同組合

図面リスト					
番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
A-1	図面リスト・設計概要	FREE	S-1	構造特記仕様書	FREE
A-2	特記仕様書 1	FREE	S-2	小屋伏図・断面リスト	1/100
A-3	特記仕様書 2	FREE	S-3	軸組図	1/100
A-4	特記仕様書 3	FREE	S-4	補強鉄骨詳細図	1/20
A-5	特記仕様書 4	FREE	S-5	増設水平ブレース詳細図	1/20
A-6	配置図・付近見取図	1/400			
A-7	1階平面図	1/100			
A-8	2階平面図	1/100			
A-9	立面図 1	1/100			
A-10	立面図 2	1/100			
A-11	矩計図（改修前）	1/30			
A-12	矩計図（改修後）	1/30			
A-13	展開図	1/50			
A-14	便所平面詳細図（改修前、改修後）	1/50			
A-15	便所展開図・建具表	1/50			

設計概要		
一般事項	工事名称	太田小学校屋内体育館耐震補強工事
	建設地	新潟市北区太田817
	建築用途	小学校（屋内体育館）
	工事種別	耐震補強工事
	都市計画区域内外の別	都市計画区域内
	用途地域	指定なし
	防火地域	指定なし
	建ぺい率	70%
	容積率	200%
	日影規制	指定なし
その他地域・地区	建築基準法第22条地域	
施設概要	建築年	昭和49年（1974年）
	構造	1階：鉄筋コンクリート造、2階：鉄骨造
	最高の高さ	11.07m
	軒高	7.72m
	敷地面積	16822.00㎡
	建築面積	754.31㎡（屋内体育館）
	延べ床面積	783.36㎡（屋内体育館）

工事概要		
補強工事	その他工事	
・桁ブレースの増設 全6箇所	・ガラス面飛散防止フィルム貼（内面）新設	
・桁梁の増設 全8箇所	・ガラス周りガスケットおよびシーリングの取替え	
・屋根ブレースの増設 全8箇所	・便器改修に伴うトイレ改修	
・既設桁ブレース撤去 全2箇所	・設備工事の概要（別途工事） 1) 男女各1ヶ所の大便器を洋風便器に取り替え。 2) 洋風便器、水飲み場の給水を直結給水方式に変更。 3) 直結給水式の屋外水栓柱の設置 4) 便所の換気設備の設置（天井埋込換気扇）	

平成21年度太田小学校屋内体育館耐震補強工事設計図

仕様書

1 共通仕様

- 1.本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成19年版」（以下「標準」という。）による。
2.標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。
(1)「契約書」を「新潟市契約規則による標準規定（昭和41年4月1日訓令第9号）別記様式第6号の2の工事請負契約約款、及びその他の関連要綱」（以下「約款等」という。）に読み替える。
(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。
3.次の各号に該当する標仕の項目について、標仕の規定を別表に置き換えて適用する。
(1) 1章 1.1.2用語の定義の(1)、(12)及び(19)
(2) # 1.4.2材料の品質の(a)及び(b)
(3) # 1.4.4材料の検査等の(a)
(4) # 1.6.1工事検査の(b)及び(d)
4.次に掲げる標仕の規定は、適用しない。
1章 1.1.2 用語の定義の(20)
1.6.2 技術検査

別表（建築工事）

Table with columns: No., Item, Replacement Specification. Contains detailed replacement rules for various construction items like materials, equipment, and safety measures.

II 特記仕様

- 1.項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2.特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
3.特記事項に記載の()内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
なお、(別)は別図「各部配筋」の当該番号を表す。
4.製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。

Main specification table with columns: Item, Particulars, and Remarks. Lists specific requirements for construction items like concrete, steel reinforcement, and equipment.

Technical drawing area containing detailed diagrams and tables for: 6 外部足場 (External Scaffolding), 3 土工事 (Earthwork), 4 地業工事 (Groundwork), 7 鉄骨工事 (Steel Structure), 8 コンクリート工事 (Concrete Work), and 9 鋼材 (Steel Materials). Includes tables for reinforcement details and material specifications.

Vertical column on the right side containing additional specifications and notes for various construction items.

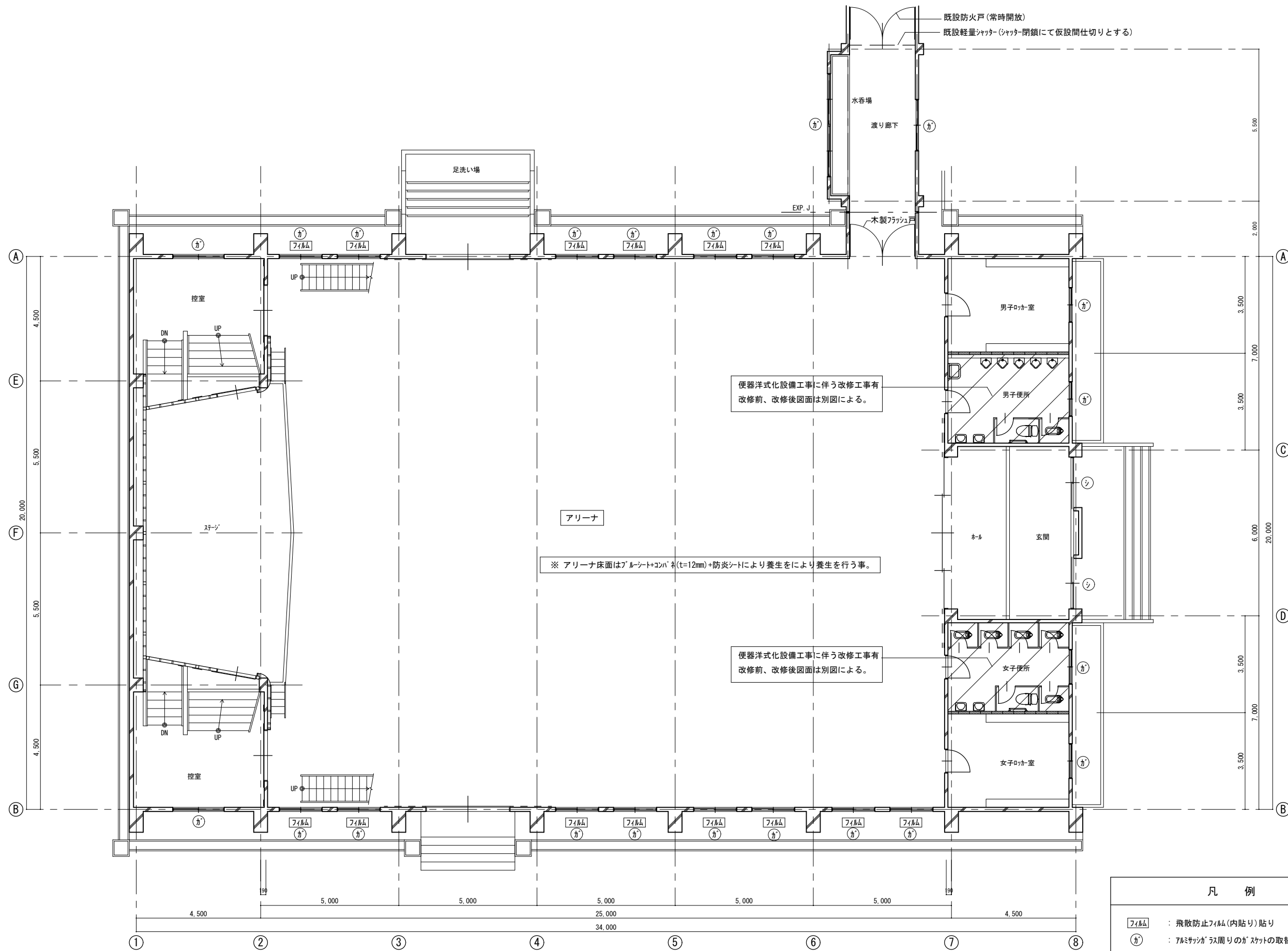
Table on the right side containing material specifications, performance requirements, and testing methods for various construction materials and components.

17 ガラス用フィルム (16.13.5)
18 ①材料 (18.1.3)
②素地ごしらえ (18.2.7)
③塗装業者
19 1 接着剤 (19.2.2)
2 ビニル床シート張り (19.2.2)
3 ビニル床タイル張り (19.2.2)
4 誘導用、注意喚起用床材 (19.2.2)
5 ビニル幅木 (19.2.2)
6 帯電防止床材張り (19.2.2)
7 カーペット敷き (19.3.2)

8 合成樹脂塗床 (19.4.2)
9 床用塗料塗り (19.4.1)
10 防塵用塗料塗り (19.4.1)
11 フローリング張り (19.5.2)
12 畳敷き (19.6.2)
13 セッコウボード (19.7.2)
14 吸音材 (19.7.2)
15 壁紙張り (19.8.2)
16 断熱材 (19.9.2)

20 1 基本要品質 (20.1.2)
2 耐震スリット (20.2.2)
3 フライアタック (20.2.2)
4 可動間仕切り (20.2.3)
5 移動間仕切り (20.2.4)
6 トイレブース (20.2.5)
7 階段滑止め (20.2.6)
8 階段手すり (20.2.8)
9 黒板及びホワイトボード (20.2.12)
10 ブラインド (20.2.12)
11 フライントガラス及びガラスブロック (20.2.12)

12 ロールスクリーン (20.2.13)
13 カーテン及びカーテンレール (20.2.14)
14 ピクチャーレール (20.2.14)
15 天井点検口 (20.2.14)
16 床点検口 (20.2.14)
17 積雪表示板 (20.2.14)
18 室名札 (20.2.14)
19 かぎ箱 (20.2.14)
20 くつふまマット (20.2.14)
21 流し台ユニット (20.2.14)
22 屋内掲示板 (20.2.14)
23 洗面カウンター (20.2.14)
24 敷地境界石標 (20.2.14)
25 収納・収納家具 (20.2.14)
21 排水管 (21.2.1)



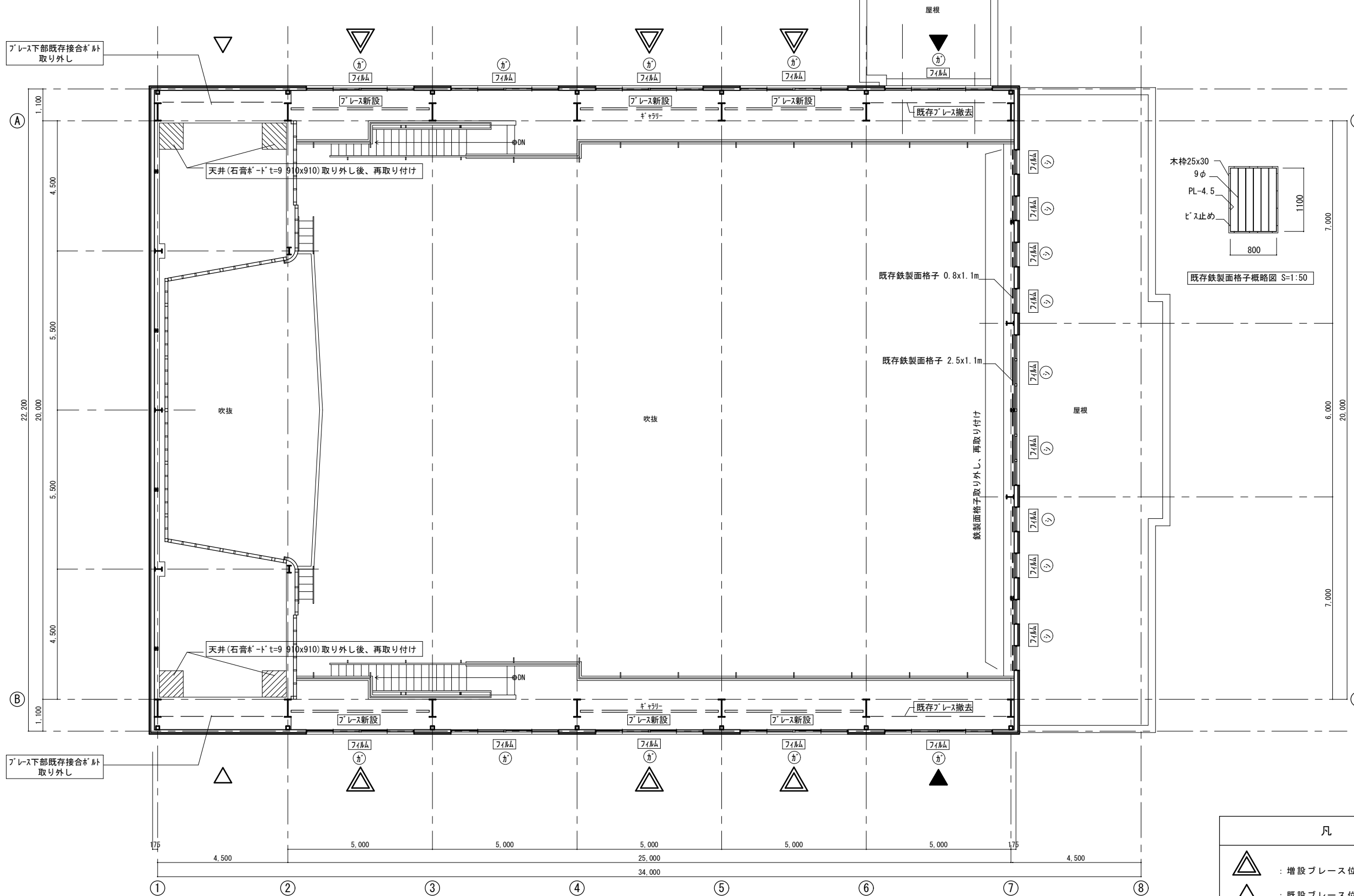
便器洋式化設備工事に伴う改修工事は
改修前、改修後面は別図による。

便器洋式化設備工事に伴う改修工事は
改修前、改修後面は別図による。

アリーナ
※ アリーナ床面はブルーシート+コンパネ(t=12mm)+防災シートにより養生をにより養生を行う事。

凡 例	
フィルム	: 飛散防止フィルム(内貼り)貼り
カ	: 7Mミサシガラス周りのカセットの取替えを示す。
シ	: 7Mミサシガラス周りのシーリングの取替えを示す。

1階 平面図 S=1/100




2階 平面図 S=1/100

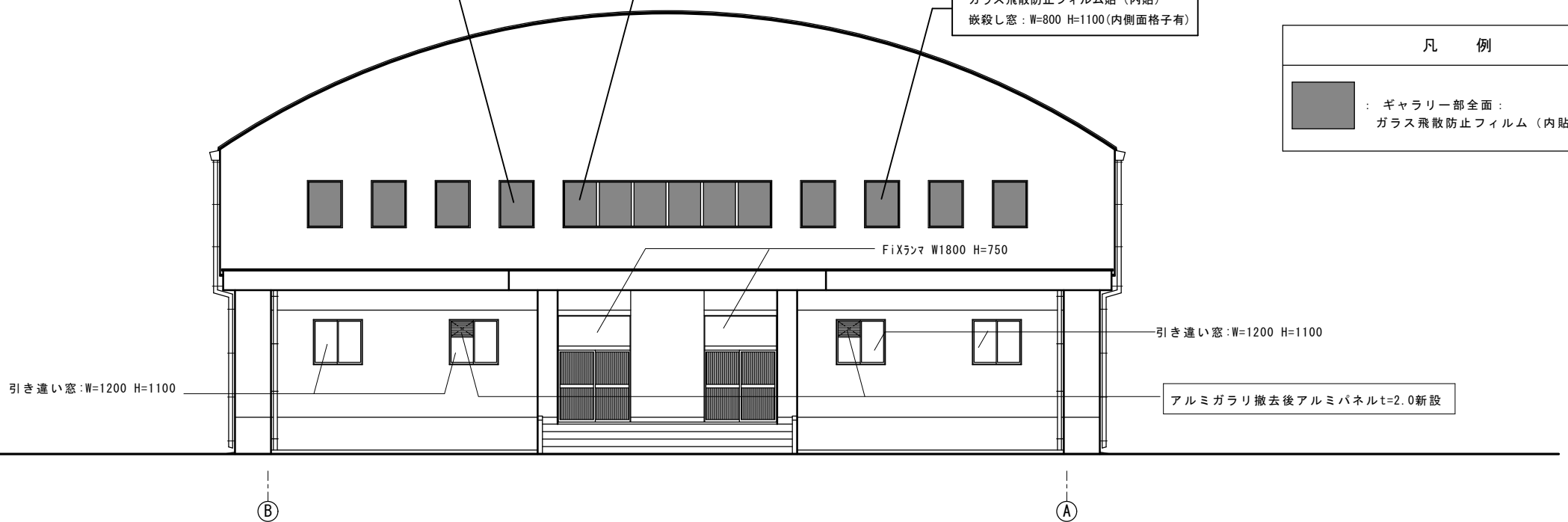
凡 例	
	: 増設ブレス位置を示す
	: 既設ブレス位置を示す (下部部 取り外し)
	: 既設ブレス撤去位置を示す
	: 飛散防止フィルム(内貼り)貼り
	: アルミサッシ周りのガスケットの取替えを示す。
	: アルミサッシ周りのシーリングの取替えを示す。

ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）
嵌殺し窓：W=800 H=1100(内側面格子有)

ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）
嵌殺し窓：W=800 H=1100 6連窓
（内側面格子有）

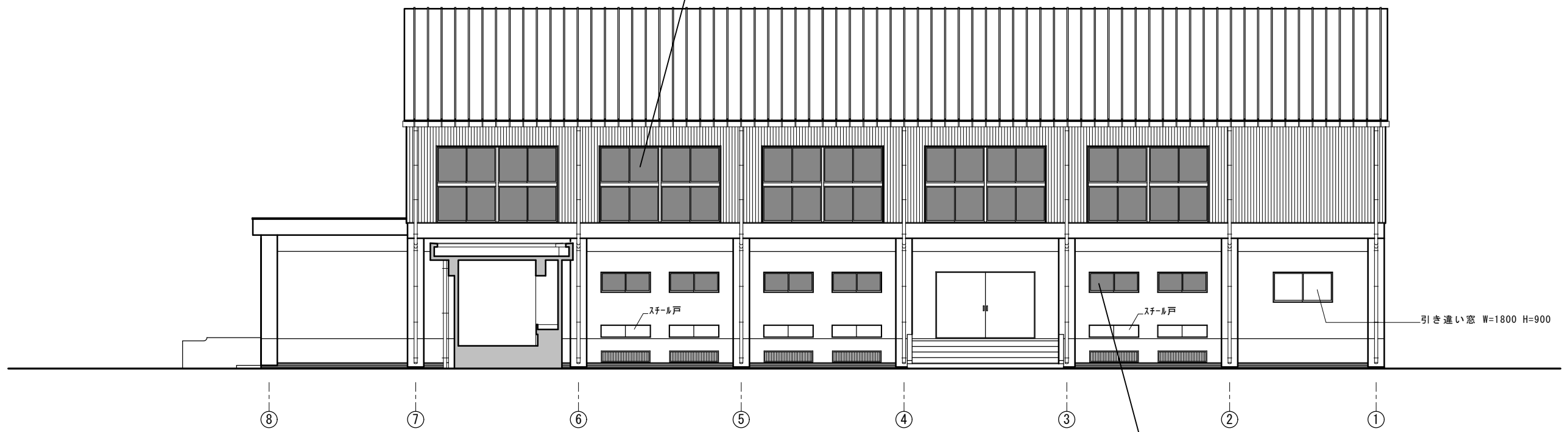
ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）
嵌殺し窓：W=800 H=1100(内側面格子有)

凡 例	
	: ギャラリー部全面： ガラス飛散防止フィルム（内貼）を貼る。



北側 立面図 S=1/100

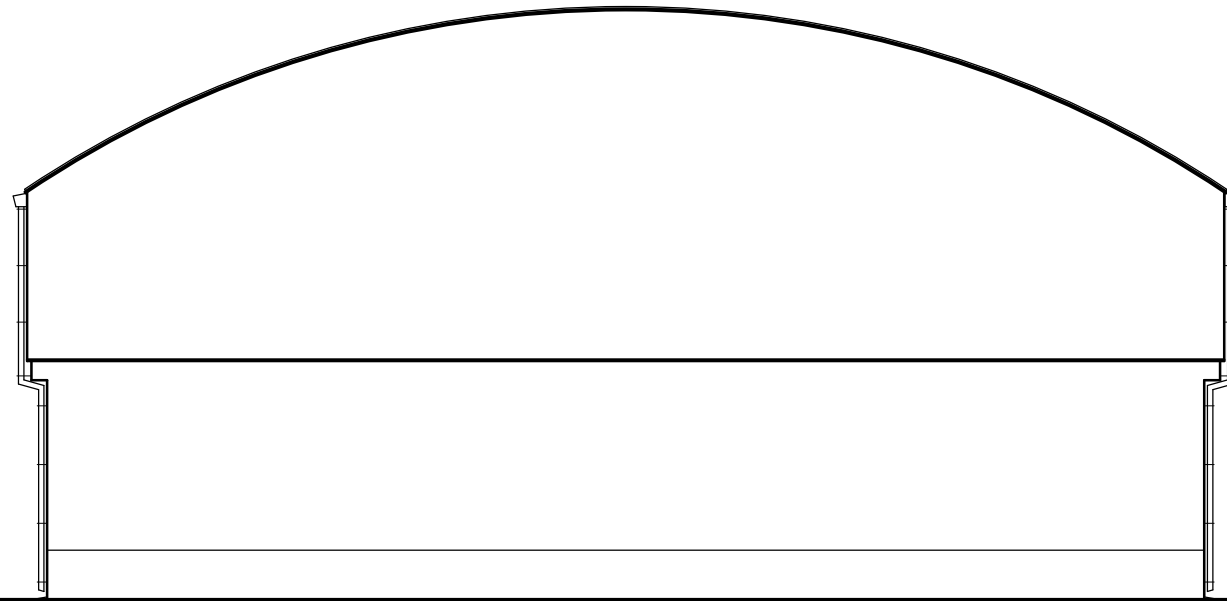
ギャラリー部全面：ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）
引き違い窓：W=1800 H=1100 2段2連窓



東側 立面図 S=1/100

共通事項：アルミサッシガラス周りのガスケット（引き戸部分）及び
ガラスシーリング（Fix窓部分）を全て取り替える事。

アリーナ1階部：ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）
引き違い窓：W=1500 H=600（障子を取り外してフィルムを貼る。）



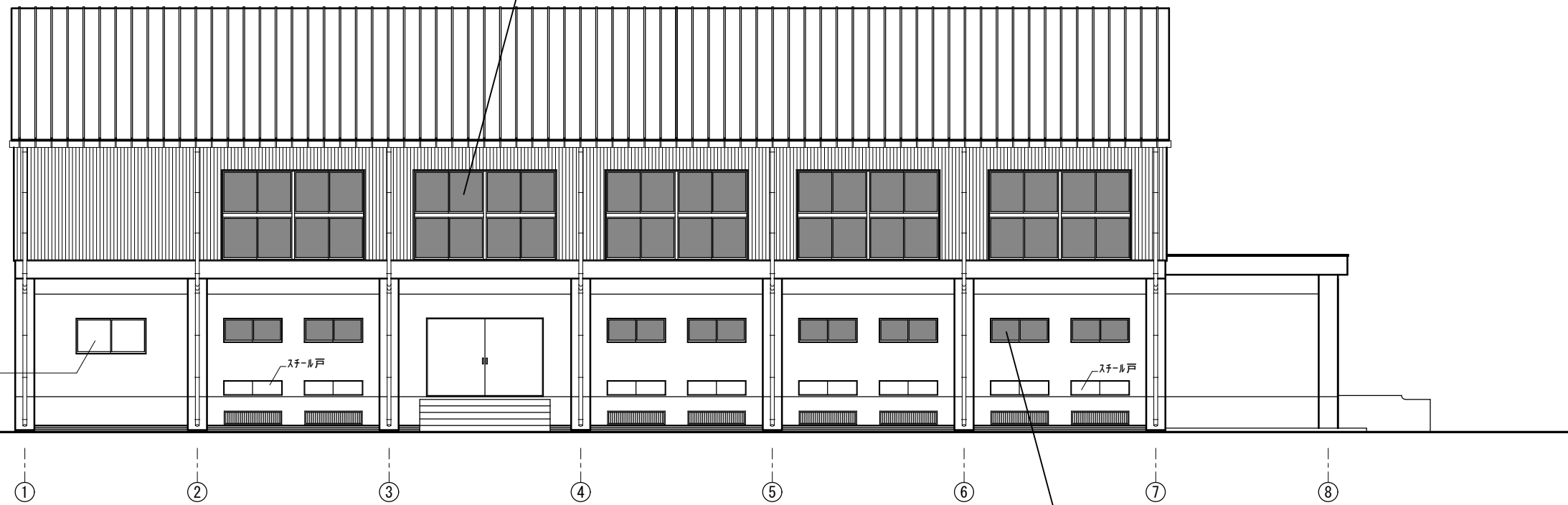
凡 例	
■	： ギャラリー部全面： ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）

Ⓐ

Ⓑ

南側 立面図 S=1/100

ギャラリー部全面：ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）
引き違い窓：W=1800 H=1100 2段2連窓



引き違い窓 W=1.8 H=0.9

スチール戸

スチール戸

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

西側 立面図 S=1/100

共通事項：アルミサッシガラス周りのガスケット（引き戸部分）及び
ガラスシーリング（FIX窓部分）を全て取り替える事。

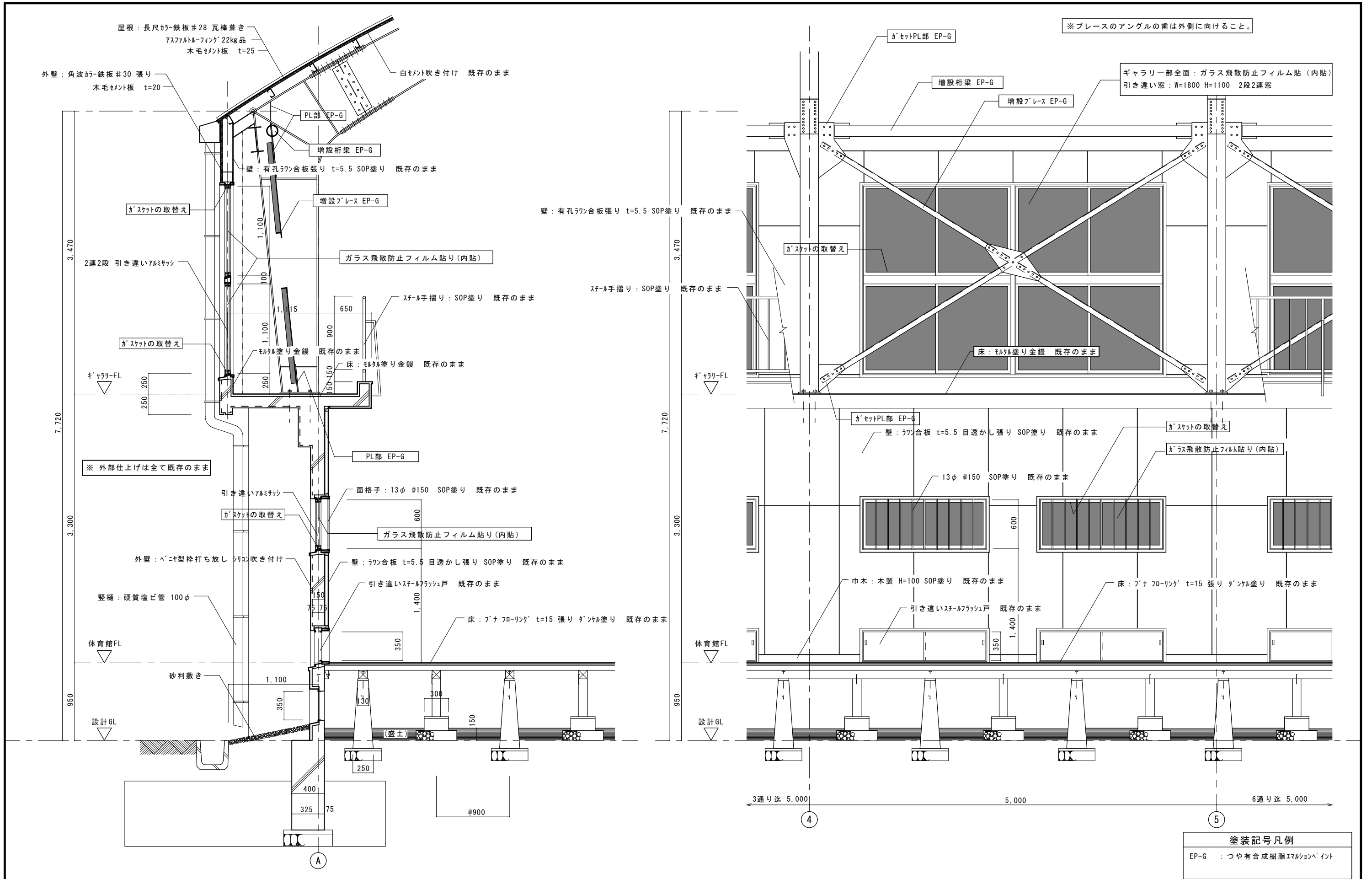
アリーナ1階部：ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）
引き違い窓：W=1500 H=600（障子を取り外してフィルムを貼る。）

新潟市建築設計協同組合 担当設計事務所 酒井建築事務所
管理建築士 一級建築士第69716号 今井孝一 担当事務所管理建築士 一級建築士第103858号 酒井秀晴

新潟市建築部公共建築第1課

工事名 太田小学校屋内体育館耐震補強工事

図名 立面図 2			
年月日	2009.3	縮尺	1/100
図面番号	A-10		



塗装記号凡例

EP-G : つや有合成樹脂エマルジョンペイント

新潟市建築設計協同組合 担当設計事務所 酒井建築事務所
 管理建築士 一級建築士第69716号 今井孝一 担当事務所管理建築士 一級建築士第103858号 酒井秀晴

新潟市建築部公共建築第1課

工事名
太田小学校屋内体育館耐震補強工事

図名
鉅計図 (改修後)

年月日 2009.3 縮尺 1/30 図面番号 A-12

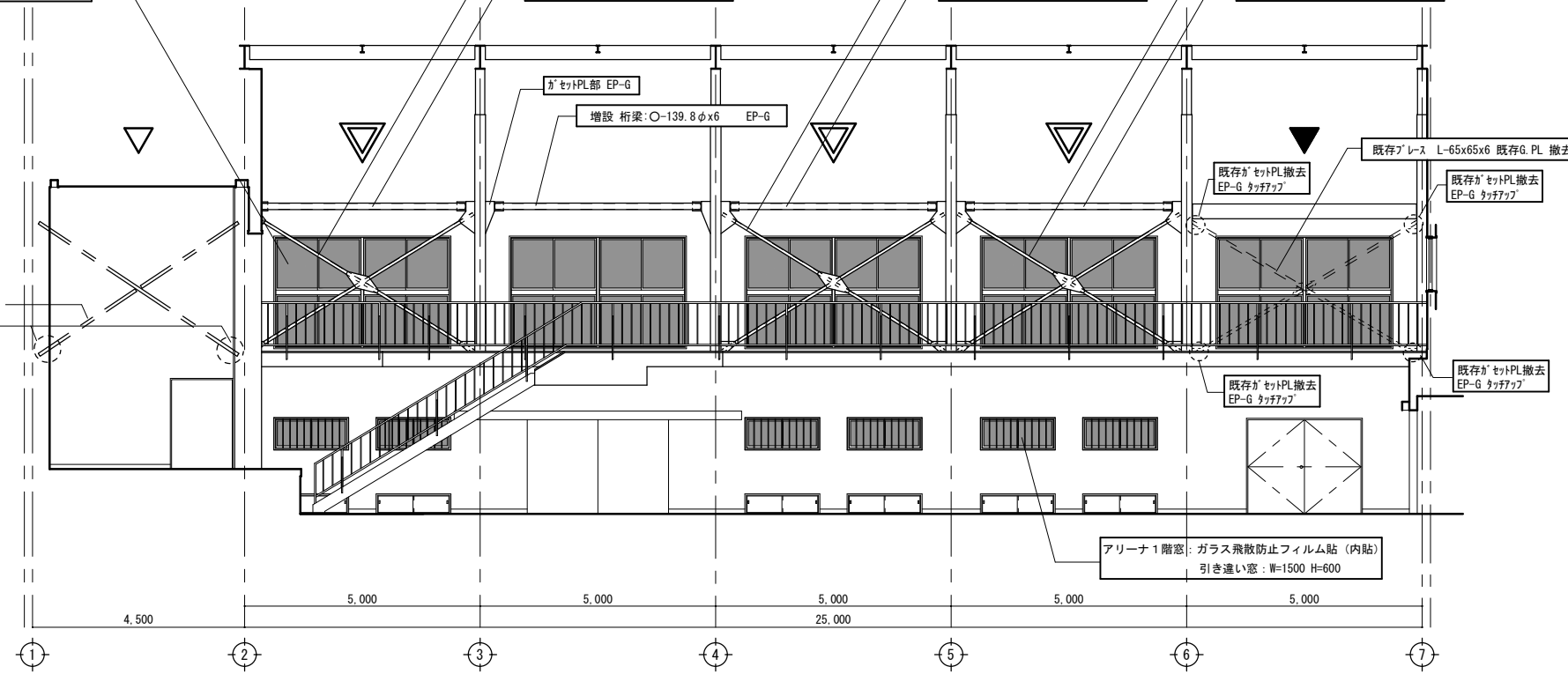
ギャラリー部全面：ガラス飛散防止フィルム貼（内貼）
引き違い窓：W=1800 H=1100 2段2連窓

増設ブレース：L-65x65x6 EP-G
増設 桁梁：○-139.8φx6 EP-G

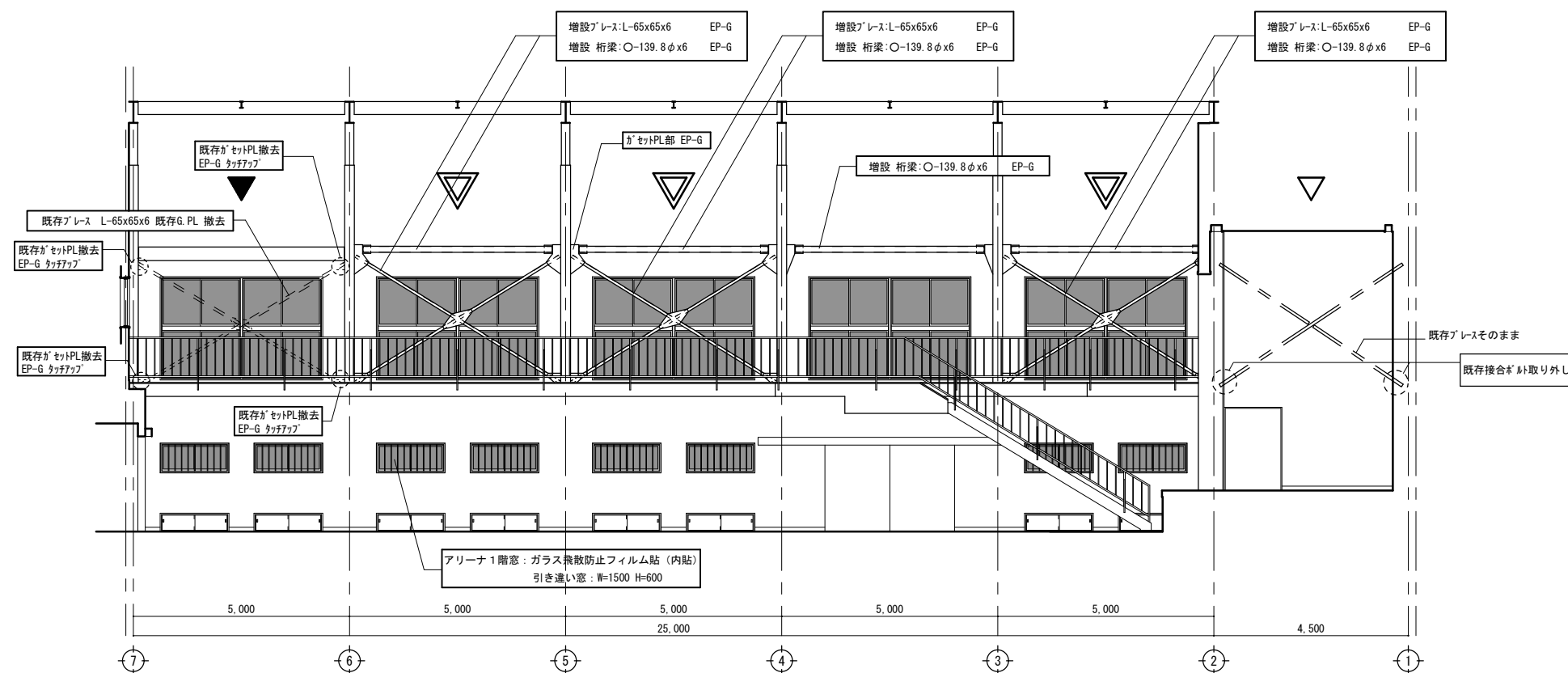
増設ブレース：L-65x65x6 EP-G
増設 桁梁：○-139.8φx6 EP-G

増設ブレース：L-65x65x6 EP-G
増設 桁梁：○-139.8φx6 EP-G

既存ブレースそのまま
既存接合部取り外し

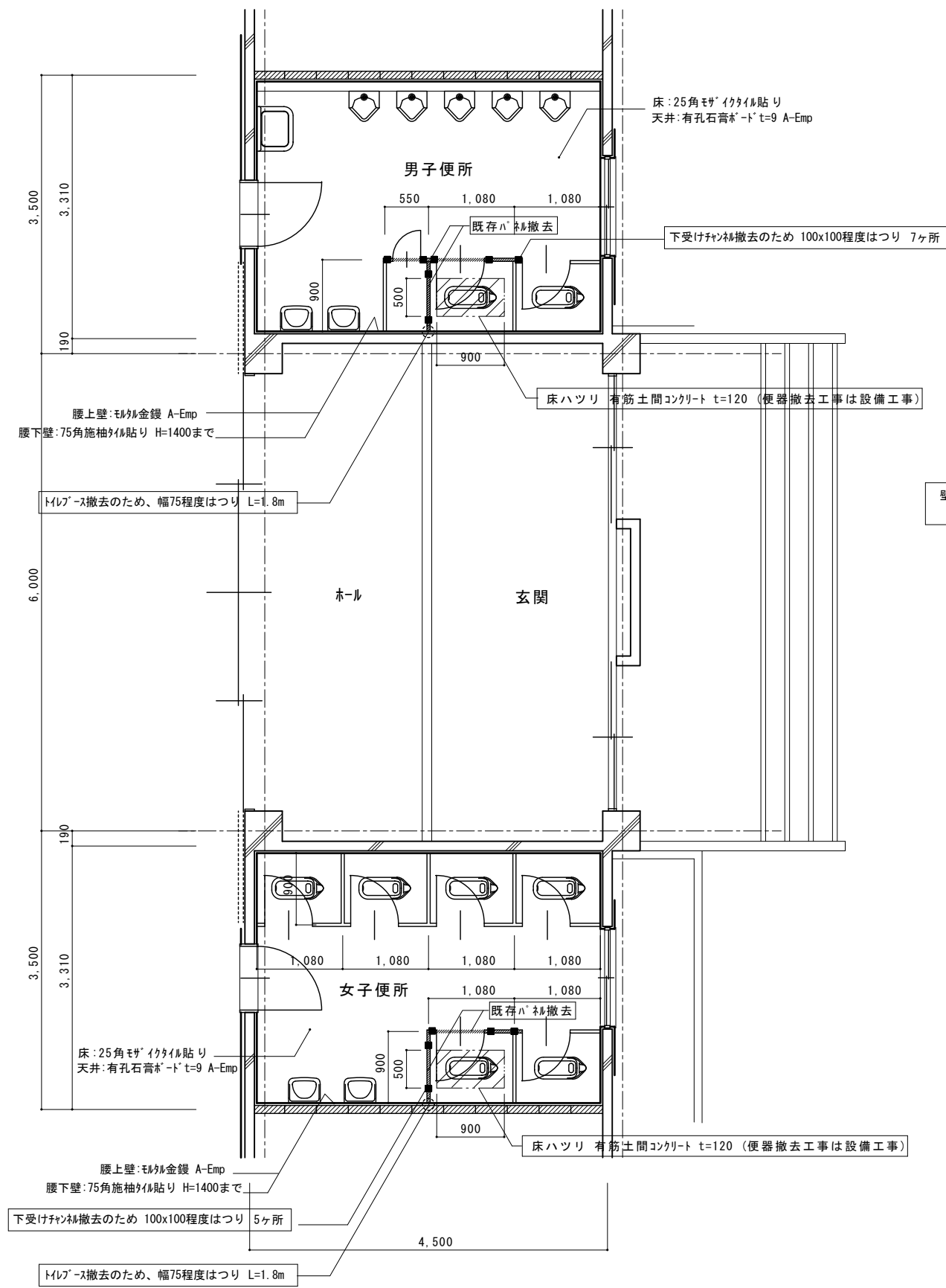


A通り側



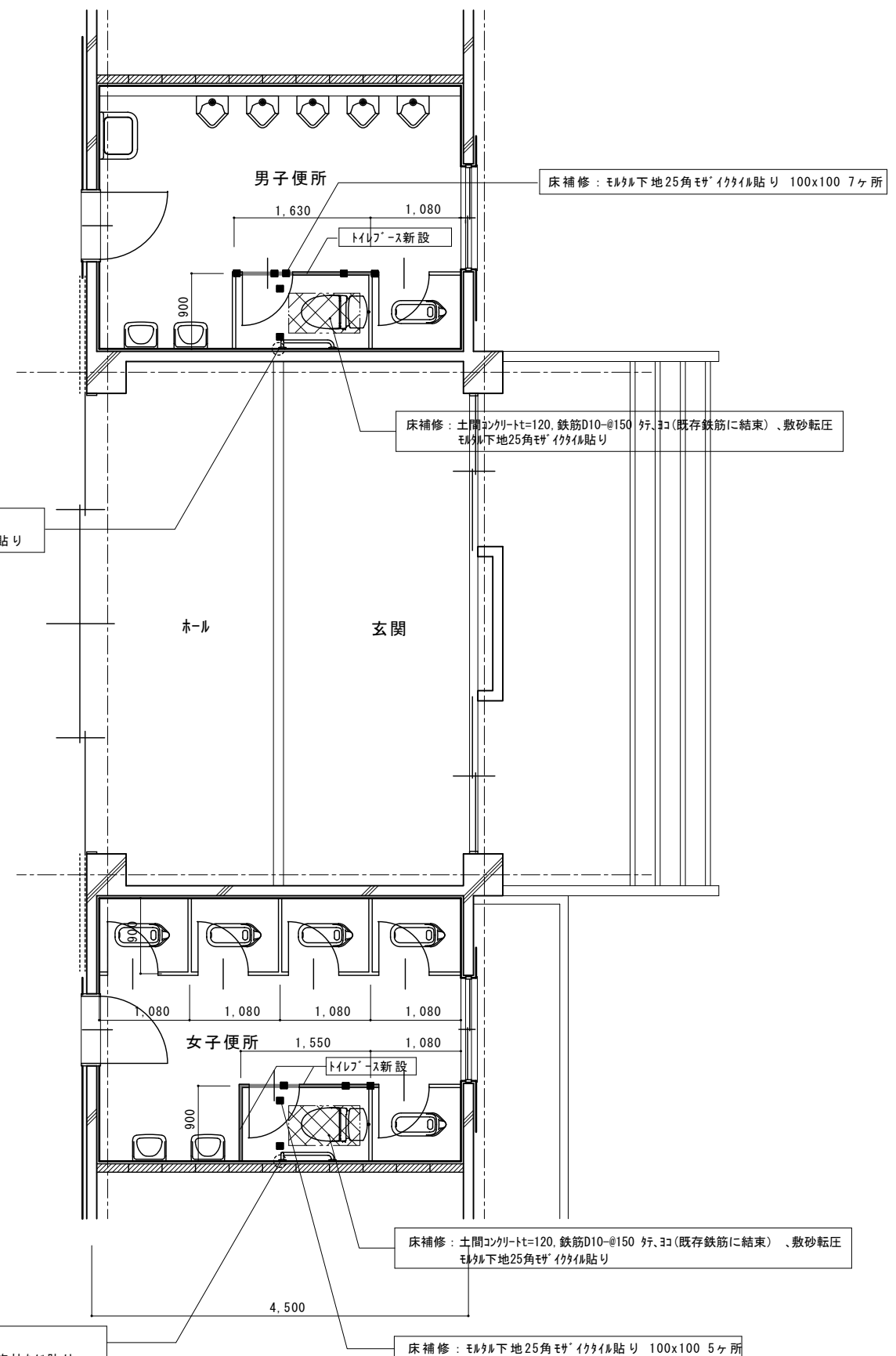
B通り側

凡 例	
	：増設ブレース位置を示す
	：既設ブレース位置を示す（*は取り外し）
	：既設ブレース撤去位置を示す
	ガラス飛散フィルム（内貼り）を示す。

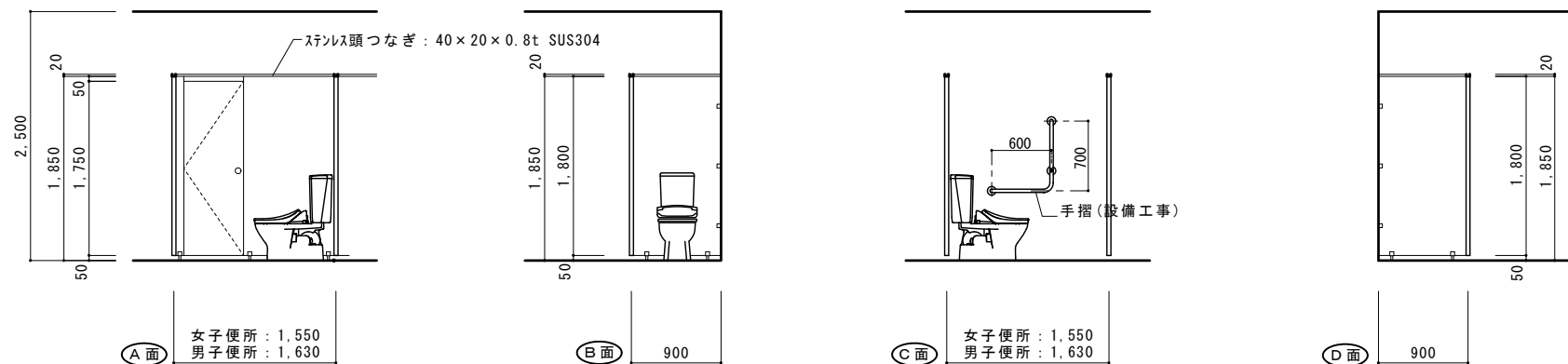
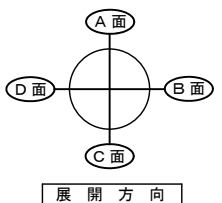
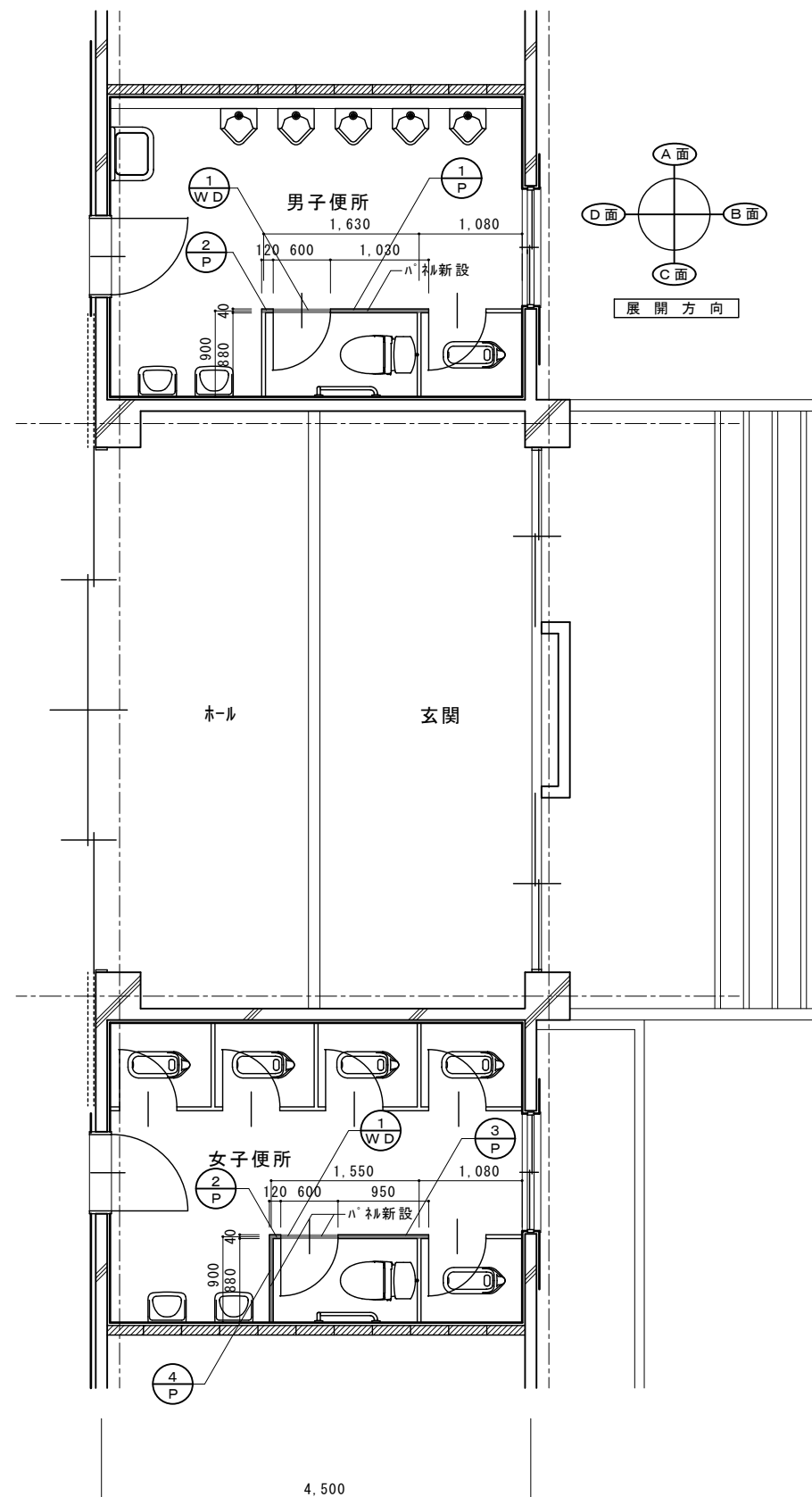


便所平面図(改修前) S=1/50

壁補修: 腰上1.4m~ モルタル金銀EP塗り
腰下1.4mまで モルタル下地75角施袖タイル貼り



便所平面図(改修後) S=1/50

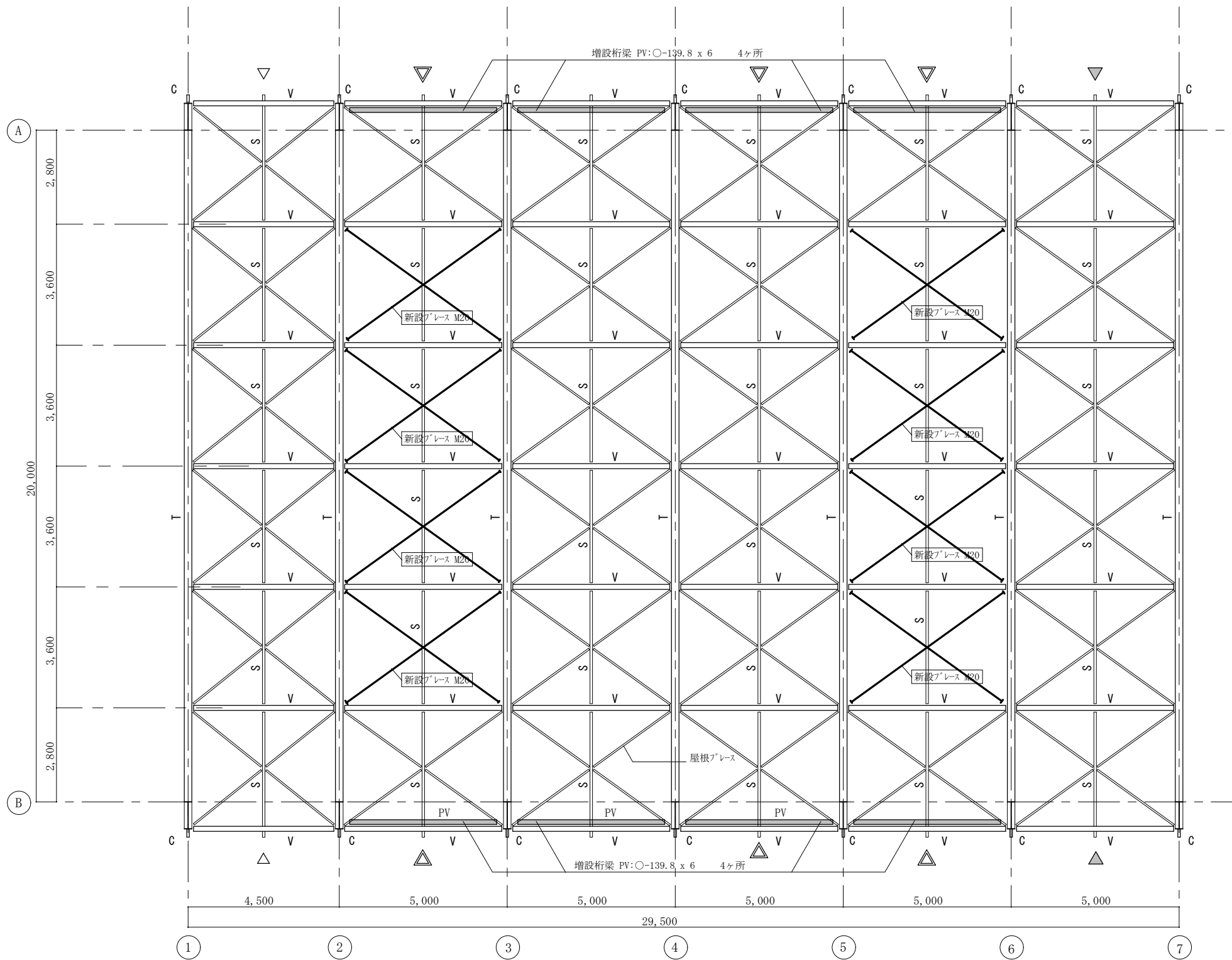


1階便所展開図 S=1/50

建具表 S=1/50

符号・数量	① W/D × 2	① P × 1	② P × 2	③ P × 1	④ P × 1
形状					
型式	片開きフラッシュ戸 見込 36	フラッシュ隔てパネル 見込 36	フラッシュ隔てパネル 見込 36	フラッシュ隔てパネル 見込 36	フラッシュ隔てパネル 見込 36
材料	ラワン合板t=3 (タイプ1)	ラワン合板t=3 (タイプ1)	ラワン合板t=3 (タイプ1)	ラワン合板t=3 (タイプ1)	ラワン合板t=3 (タイプ1)
仕上	EP-G塗り	EP-G塗り	EP-G塗り	EP-G塗り	EP-G塗り
硝子					
金物	握り玉付き表示錠 ムバトリック ムバトリアイク 帽子掛け戸当たり	下受けチャンネ	下受けチャンネ	下受けチャンネ	下受けチャンネ 横受けアングル
備考	ステンレス頭つなぎ: 40x20x0.8t SUS304	ステンレス頭つなぎ: 40x20x0.8t SUS304	ステンレス頭つなぎ: 40x20x0.8t SUS304	ステンレス頭つなぎ: 40x20x0.8t SUS304	ステンレス頭つなぎ: 40x20x0.8t SUS304

建具符号図 S=1/50



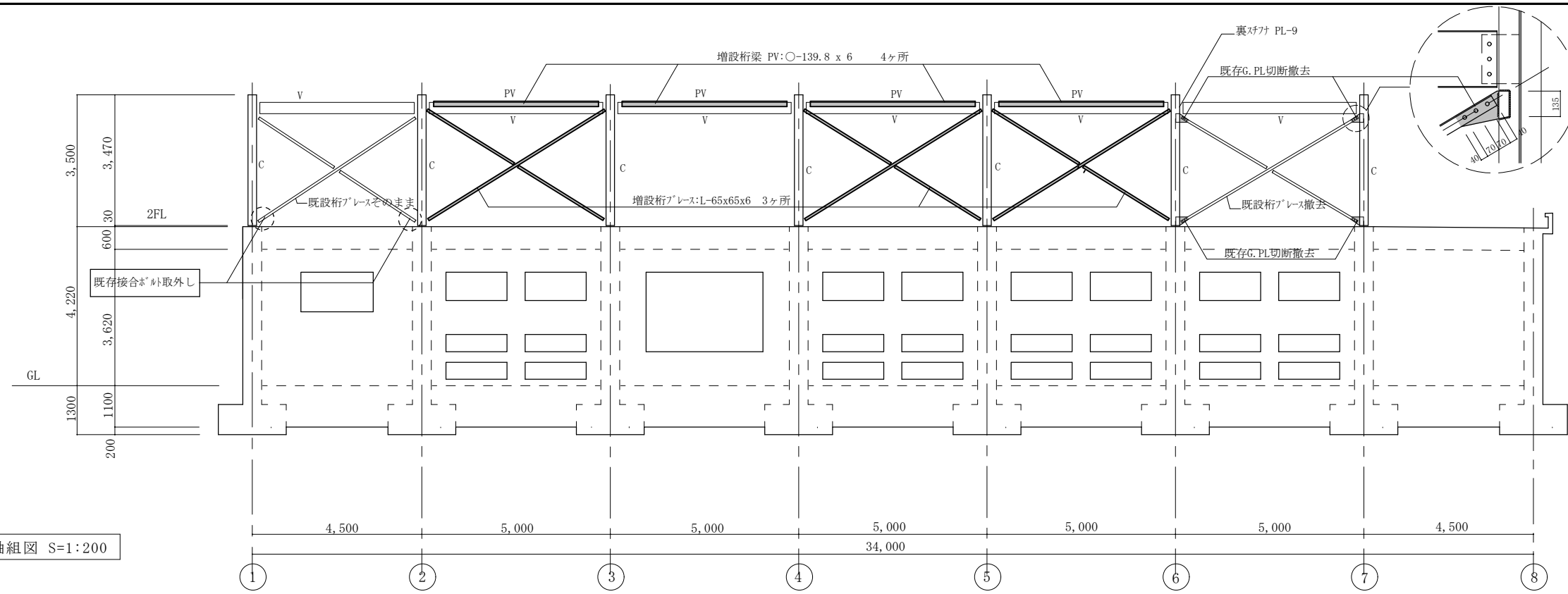
小屋伏図 S=1:100

- 凡例
- ▲ : 増設フレス位置を示す
 - △ : 既設フレス位置を示す(ボルト取り外し)
 - ▲ : 既設フレス撤去位置を示す

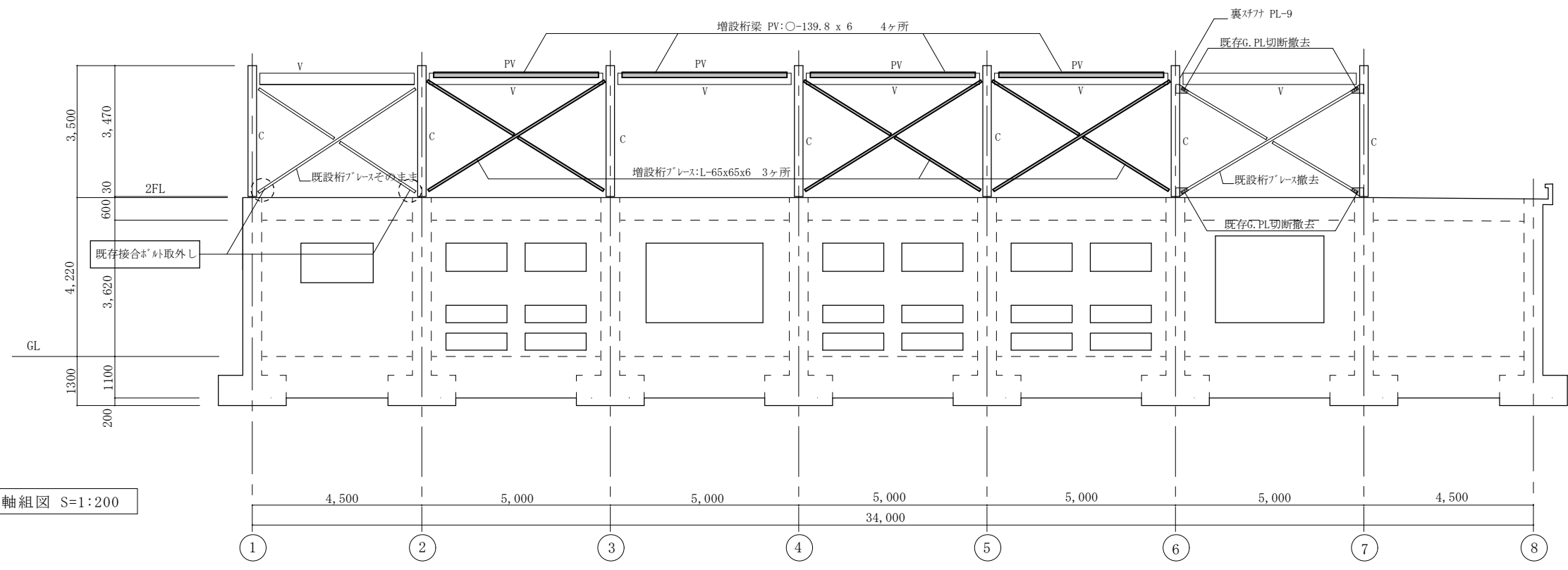
共通事項: 耐震補強の溶接部近辺に火報空気が設置されている場合は、火報空気を防炎シート等で養生の後、溶接作業を行う。

断面リスト	
位置	部材
[増設部材]	
・桁フレス	L- 65 x 65 x 6 G.PL- 12 5-M16
・桁梁 PV	O- 139.8 x 6 羽子板 PL-9x180, リブ PL-9
	接合部 PL- 12 4-M20
・水平フレス	JISタンパツ鋼筋かい M20 G.PL-9 1-M20
[既設部材]	
C	BH- 800~450 x 225 x 12 x 16
T	端部 BH- 800~500 x 225 x 12 x 16
	中央部 BH- 500 x 200 x 9 x 12
V	LH- 300 x 150 x 3.2 x 4.5
S	H- 150 x 75 x 5 x 7
桁フレス	L- 65 x 65 x 6 G.PL-9 3-φ19
屋根フレス	L- 50 x 50 x 6 G.PL-6 3-φ16
モヤ	C-100 x 50 x 20 x 2.3 @606
特記事項	・鉄骨製作にあたっては現場実測の上、寸法を確定してから行うこと。

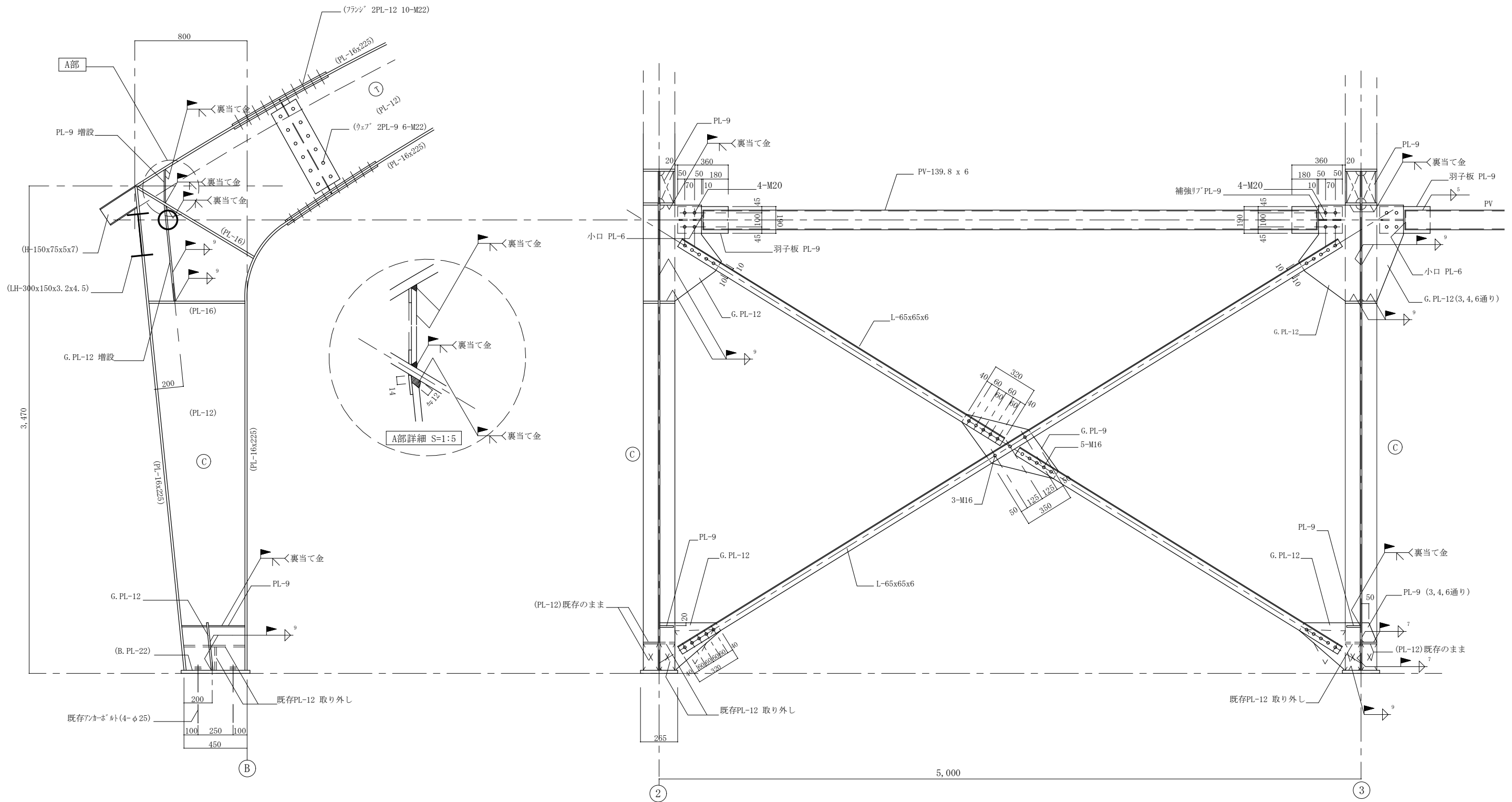
増設、取替え材料の規格	
型鋼	SS 400
パイプ	STK 400
鋼板	SN 400B
ボルト(HTB)	S10T
現場溶接	<ul style="list-style-type: none"> ・既存部材に現場溶接する場合に使用する溶接棒は「低水素系4316」とする。 ・立向き溶接の進行は「上進」とする。 ・両側から隅肉溶接できない箇所は突き合せ溶接とする。 ・立ち向き突き合せ溶接部で、両側から隅肉溶接が可能な場合は隅肉溶接として良い。



B通り 軸組図 S=1:200

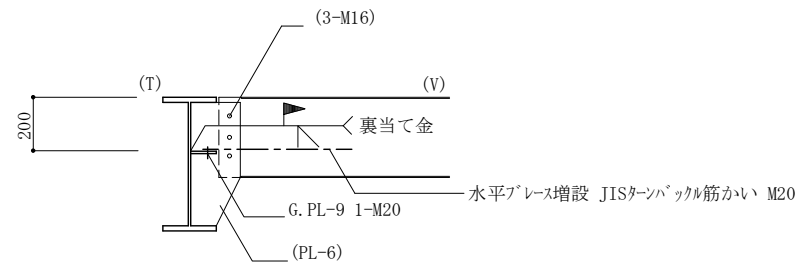
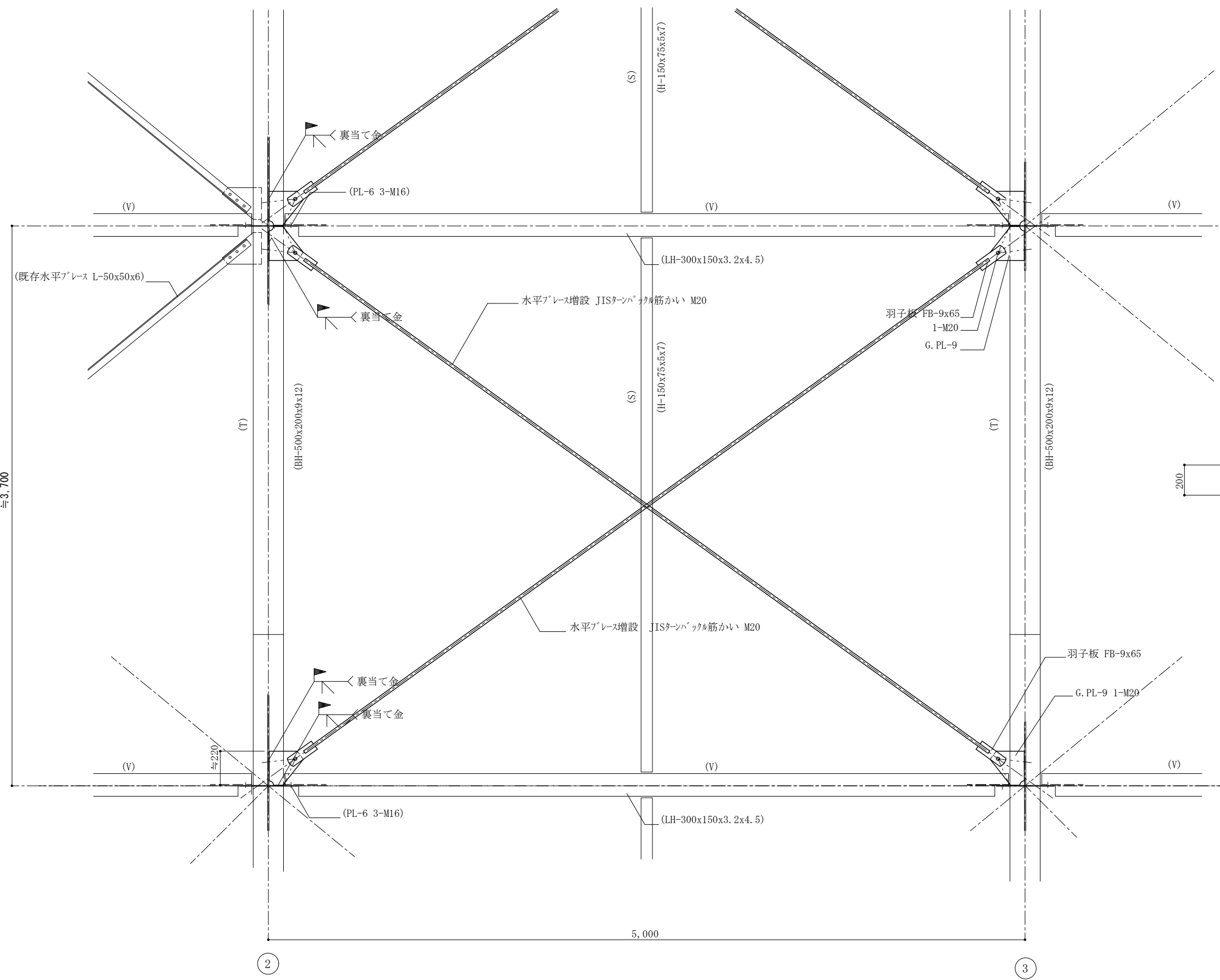


A通り 軸組図 S=1:200



補強鉄骨詳細図 S=1:20

共通事項: ()内の部材以外は増設部材とする。
補強プレースの歯は外側に向けること。



水平ブレース取り付け詳細図 S=1:20

屋根増設水平ブレース 鉄骨詳細図 S=1:20

共通事項 ・既設水平ブレースは撤去しない事。
 ・()内部材以外は増設部材とする。